

○気持ちの良いあいさつができる子 ○進んで課題を見つけ解決する子 ○思いやりがあり節度ある行動がとれる子

北大和小だより 1月号

平成29年1月10日
大和市立北大和小学校
〒242-0001 大和市下鶴間685
ホームページ <http://www.ed2.city.yamato.kanagawa.jp/s-kita/>



焼け野の雉子、夜の鶴 ～ 親の愛情の偉大さ ～

明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

年明けから松の内は、晴れの日が続き、清々しい気持ちで過ごせたのではないかと思います。さあ、新たな気持ちで3学期の学校生活の始まりです。

さて、今年は酉年。鳥が登場する格言として次のような言葉があります。

や の きぎす よる つる
「焼け野の雉子、夜の鶴」



「きぎす」とは、漢字を見ればわかるようにキジのことで、古い呼び方です。この格言は、「子を思う親の愛情が深いこと」をたとえた言葉です。どうして、「親の愛情の深さ」を表すのかというと、キジは巢のある野原が焼かれると、自分の危険もかえりみずにひなを救おうとし、鶴は霜の降りる寒い夜に翼でひなをおおって暖めることからなのだそうです。

人の子の親となったときのわが子を慈しみ、苦勞はさせたくないと思う親心を二種の鳥の姿でうまく言い当てています。自分もいくつになっても親から受けた愛情は、忘れることがなく、両親が他界した今でもその愛情を思い出すにつけ、「まっとうに生きなければ。」という心の張りとなっています。子どもは、自分が危険にさらされたり、困ったりしたときに、手を差し伸べてくれる親の愛情を感じていれば、それを乗り越えて強く生きていけるものです。またその愛情があれば、普段、どんなに子に厳しくしても、必ず子は親のところに戻ってくるものです。親の愛情とは、偉大なものです。

今年一年、改めて学校も、親やご家族の愛情を一身に受けた子どもたちをお預かりすることを肝に銘じつつ、我々教職員も愛情をもって、子どもたちが健やかに育つ環境を整えるために労をいとわず充実した教育活動をおこなっていきたいと、年頭に際し強く思うところです。

(校長)



学校給食事務補助員さんの交替

学校給食事務補助員として、4年間に渡りお仕事をさせていただいた 小松俊子 さんが、お辞めになり、新たに 三浦智美 さんをお願いすることになりましたのでご紹介いたします。今後ともよろしくお願いいたします。

1月行事予定



日	曜日	行事	相談日
5	木	給食費引き落とし日	
10	火	3学期始業式 短縮4校時 12:15下校	
11	水	給食開始	
12	木		★
16	月	給食費再引き落とし日 校内書き初め展(20日まで)	
17	火	クラブ(クラブ見学)	★
18	水	普通日課4時間(13:15下校) ※研究会参加のため	
19	木		★
20	金	教育相談日	
24	火	6年生体験入学(つきみ野中)	
25	水	児童会選挙	
26	木		★
30	月	児童朝会	
31	火	委員会	

★は教育相談員の相談日です。

《こころの劇場鑑賞会》

「劇団四季」の演劇鑑賞に、本年度北大和小学校が当たり、12月13日(火)に鑑賞に横浜へ行きました。鑑賞が午後からなので、午前中は「放送ライブラリ」「新聞博物館」の見学を行いました。新聞・報道の歴史について学習しました。こころの劇場は、県民ホールで行われました。演目はミュージカル「エルコスの祈り」で、プロの演技と歌声に感動させられました。プロのパフォーマンスを目にすることができ、貴重な体験となりました。



《社会見学》



5年生 極東開発

12月9日(金)に、社会の授業の一環として、工場生産について学習するために、極東開発行きました。極東開発についての説明を受け、トラックの製造ラインを見学しました。大きな音と火花散る工場の様子を見ることができ、工場生産について学習することができました。



6年生 国会・最高裁判所

12月2日(金)に、最高裁判所と国会の見学にいきました。あまり入る機会のない場所であり、子どもたちは緊張しながらも、興味深く見学を行いました。政治の働きと自分たちの生活との関係を学ぶことができました。



《校内書初め展のご案内》

日時 1月16日(月)~20日(金) 14時~16時

場所 廊下に掲示

冬休み明けの「書き初め大会」で書いた作品を各学級の廊下に掲示します。保護者の皆様もどうぞ鑑賞ください。

また、来校時には、名札着用のご協力をお願いいたします。お忘れになった場合は、正面玄関に来校者用の名札がありますので、名簿に記名のうえ、お付けくださるようお願いいたします。

